



きんこんの会公開シンポジウム 介助つきコミュニケーション研究会

平成 28 年 4 月 30 日土曜日 午後 1 時
國學院大學横浜たまプラーザキャンパス411教室

第 I 部 午後 1 時～午後 2 時 45 分

第 1 回介助つきコミュニケーション研究会

「いのちの声を聞く」

介助つきコミュニケーションとは、手を添えるなどの介助を通して初めてできるコミュニケーションのことを言います。代表的なものは、介助者に手を添えられて文字を書く方法（筆談）と介助者に手を添えられて文字盤を指さす方法、介助者の「あかさたな…」という声に合図を送って文字を選んでいく方法です。

すでに多くの方がこれらの方法で意思の表現が可能になっており、そのことによって当事者の生活は大きな変化を見せています。

この研究会は、このことを広く世の中に伝えていくことが目的です。

第 II 部 午後 3 時～午後 4 時 45 分

第 1 回きんこんの会公開シンポジウム

「内なる心の叫びを聞いてください」

きんこんの会は、介助つきコミュニケーションによって当事者が語り合う会として 2010 年 3 月に発足しました。当事者自身の会として、司会者も当事者自身が行い、様々な議論を重ねてきました。

これまで言葉すら理解が困難とされてきた当事者が、長い間、内に秘めてきた豊かな言葉と深い思索を初めて交わし合える場として、まったく新しい場が誕生したのです。

今回は、公開のシンポジウムというかたちで内なる心の叫びを発信していくことにしました。

問い合わせ先: 〒225-0003 横浜市青葉区新石川 3-22-1 國學院大學人間開発学部 柴田保之

ご参加希望の方は、下記のメールアドレスに、お名前とご所属、ご住所を添えてお申し込みください。なお、参加者の概数を把握するためのものですので、お申し込みがなくても当日の参加は可能です。会費は無料です。

介助つきコミュニケーションや当事者の思いに関心をお持ちの方々のご参加をお待ちしております。

連絡用メールアドレス kinkon@hope.zaq.jp

きんこんの会 声明文

私たちはずっと気持ちを表現できないばかりでなく、何もわからないと言われてきた障害者です。私たちはずっと社会の中に生きていながらみんな私たちのそばを私たちに気づくことなく通り過ぎていきました。

私たちの中には勝手に手が動いたり気持ちをうまく言えなくて違った言葉を口にしている人さえいます。そのことでどれだけ誤解されてきたかわかりません。だから私たちの行動を見て勝手に判断しないでください。私たちの気持ちは行動の奥底に違ったかたちで蓄えられているのでその気持ちにどうか耳を澄ませてください。どうか私たちの声に耳を傾けてください。

私たちをずっと大切に見守ってくれた人は言葉の有無に限らずにいつもやさしく声をかけてきました。私たちはそんな人たちに支えられて今日があることを知っています。だけど社会はそんな人たちをも無視してきました。

私たちの悲しさは、本当の声に耳を傾けようとしない社会です。いつかそんな社会は変わるだろうと思ってきましたが、社会は反対の方向に向かって動き始めてしまいました。だからこそ私たちは大きな声を出さなくてははいけません。私たちの声が小さいために生まれてくることができなかった仲間さえいます。だから、一刻の猶予も残されていません。

まだまだ、言葉を発することなく亡くなっていく仲間たちがたくさんいます。今日もまたどこかで言葉を伝えることなく仲間が亡くなっているかもしれません。だから、私たちの言葉をもっと大きな声で遠くまで伝えたいと思います。もちろん言葉を伝えられずに亡くなった仲間たちも幸せな人生を生きていたことを私たちは知っています。

私たちの夢は地域で生きていくことです。体にも不安な要素を抱えている仲間は一人暮らしはむずかしいかもしれません。しかし、気持ちの上では地域で一人暮らしをしていると思えるような場所がほしいです。そういう場所があれば私たちの心は自由に地域を生きていることになるのです。

私たちを支えてくれる人たちへ。どうか私たちの前に出ないでください。私たちの後ろにもいないでください。私たちと共に手を携えてください。私たちの言葉の通訳は、私たちとのそういう関係を土台にしてお願いします。私たちが本当に求めているものは、共に生きてゆく関係です。